

## —水資源機構—

## イベントの開催等を通じた水源地域との連携について 矢木沢ダム・奈良俣ダム

### 1. はじめに

矢木沢ダム・奈良俣ダムは、群馬県利根郡みなかみ町藤原に所在し、独立行政法人水資源機構が管理するダムである。両ダムでは、他のダムと同様にダムを活かした水源地域の自立的、持続的な活性化を図るための行動計画として、国土交通省や地元みなかみ町、関係諸団体、地元住民らとともに「利根川源流水源地域ビジョン」を策定し、水源地域と連携したイベントその他の各種の活動を行っている。以下、両ダムにおいて行っている取組の一部を紹介する。

### 2. 春の点検放流

矢木沢ダム・奈良俣ダムでは、洪水期を迎えるにあたり、洪水吐きゲートが確実に作動することを確認するための「点検放流」を毎年GW明けの5月中旬頃の休日に実施している。矢木沢ダムの巨大な滑り台のようなスキージャンプ式洪水吐きからの放流は大迫力で、今年度も1日で約3,000人が訪れる人気のイベントである（写真）。

毎年、みなかみ町、観光協会、商工会、地元のホテル、民宿、地元住民、水資源機構などで構成される実行委員会を立ち上げ、水資源機構はダムの点検放流、地元は見物客をお迎えするための駐車場の設営、シャトルバスの運行、ダムカレーをはじめとする飲食や地元で評判のスイーツなどの名産品の売店の出店等と、水資源機構と地元との協体制を構築し、点検放流を行っている。



矢木沢ダム点検放流

### 3. 利根川源流まつり

地域住民や来訪者の交流の場づくりを目的に、奈良俣ダムでは毎年7月下旬に「利根川源流まつり」が開催されている。点検放流と同様に実行委員会を作り、ステージイベント、地元特産物の売店の出店、カーヌー体験、ダムの堤体見学等を行っている。

### 4. 地域団体への協力

ダムを観光の場として活用しようと地元で設立された団体（利根川源流ダムガイドの会）が、ダム見学会、ダムでの星空観察会を年に数回実施している。来訪者への説明も会の人により行われている。水資源機構では、普段は見学できないダムの監査廊等を一般開放するなどの協力を行っている。

### 5. おわりに

2020年4月から6月には、県内の市町村や観光関係者とJRなどが一体となって「群馬デスティネーションキャンペーン」が行われる。点検放流は、期間中の観光素材として、地元からの期待が大きい。またこの地域は、アーチ式（矢木沢）、ロックフィル（奈良俣）、重力式（藤原（国土交通省管理））と主なダム形式を一度に見学できる大変魅力のあるエリアである。水資源機構では、地域と連携して、より多くの方が、ダムに訪れるよう今後も取り組んでいきたい。

（独立行政法人水資源機構 沼田総合管理所 小林 真幸）



イベントマップ